

事業名称	博物館・図書館・公民館との連携による地域文化発信事業		
実行委員会	千葉県博図公連携事業実行委員会		
中核館	千葉県立中央博物館		
	住所	〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2	
	TEL	043-265-3111	FAX 043-266-2481
	ホームページ	http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/	
構成団体	千葉県立中央博物館、袖ヶ浦市郷土博物館、八千代市立郷土博物館、君津市中央公民館、千葉県立中央図書館		
事業開始時点の課題分析	<p>平成 26 年度～28 年度は同補助金を受けて「千葉県博図公連携事業」を実施し、今後も実践事例を増やしつつ、どのような連携のしくみが県民、市民にとって有用であるか、さらに検討する必要があった。</p> <p>博図公はともに、「社会教育法」で規定された社会教育施設であるにもかかわらず、各機関が、それぞれの基本的理念、行うべき役割・目的を互いには、ほとんど理解していないことがわかった。この結果を受け、平成 29 年度は、県内全体の博図公連携の実践に加え、1つの市町村内における博図公の連携のモデルとして実践を行っている。また、博図公職員による研究会（交流の場）を行っている。</p>		
事業目的	<p>平成 26 年度～28 年度にかけて実施した取り組みを博図公連携事業の第 1 期と位置づけ、平成 29 年度からは第 2 期として新たな目的を設定した。</p> <p>第 2 期は、各機関が、それぞれの基本的理念、行うべき役割・目的を再確認した上で、「市民に対するより良い学びの提供」、「市民のアイデンティティの 1 つである地域の文化、文化財の保存・活用の促進」を実現させるための連携のあり方を考え、実践的事業と連携について考える事業を行った。</p> <p>昨年度までの事業においては、実行委員会の構成団体を中心に、部分的な博図公のネットワーク化が構築されてきているが、県域全体でのネットワーク化がまだ実現されていない。今年度は、昨年度までの成果を活かして、ネットワーク化の構築を広く県域全体に広めることを目的とした。</p>		
事業概要	<p>1. 県内博図公連携モデルを用いた情報の発信</p> <p>県域の博図公連携モデルの構築の実践として、共通のテーマ（素材）のもとで博図公が連携して事業を実施する。明治 150 年にちなみ、千葉の近代化に関する資料の収集と、その成果を市民へ発信していくことを目的として、「千葉の交通」を共通のテーマとして実施することとした。</p> <p>博図公がそれぞれの得意分野をいかして、協働して展示キットの作成を行い、県内全域の社会教育施設等で巡回展を行った。展示会場である公民館等には博物館職員が出向き展示解説や講演会を行なった。中央図書館も展示キットを作成し、展示を行った。また、これまで、本事業で作成した展示キットのさらなる活用を図り、展示キットの広報を兼ねた連携展示を開催した。</p> <p>中核館では「千葉の鉄道」をテーマとした展示を開催し、その中で、講演会を行い、小冊子を作成するなど情報発信に努めた。</p> <p>2. 同一市町村内での博図公連携モデルを用いた連携事業と情報発信</p>		

	<p>同一市町村内の博図公連携モデルの構築のための実践として、八千代市と袖ヶ浦市で事業を行った。</p> <p>八千代市立郷土博物館では、地域の歴史・文化をテーマに、昨年とは異なる地域で、マップを作成するとともに、見学会や八千代市の地域の自然や文化に関する展示会を、公民館と共に開催した。また、2年間にわたり博図公で連携して事業を実施してきた経験を基に、市域内の博図公が共同で事業を実施するネットワークの構築が大きく前進した。</p> <p>袖ヶ浦市郷土博物館では、住民との連携展示とその関連行事を行って好評を得た。周辺のマップを作成することで、展示観覧者に周囲にある公民館・図書館への誘導が行えた。</p> <p>3. 各社会教育施設の事業を理解するための場の形成</p> <p>博図公の職員による事業研究会とシンポジウムを開催した。今年度はそれぞれの機関が共通の目的としている「本をめぐる博図公連携」をテーマとした。事業研究会においては、図書資料の保存と活用について、各施設の立場から事例発表をおこない、互いを理解するとともに、広く県内外の博図公職員の参加を募り、事業研究会の内容をまとめたシンポジウムを開催し、総合的な議論を行って、連携のあり方や連携モデルについて検討し、報告書を作成した。</p>
<p>実施項目 ・ 実施体系</p>	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> □ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携 □イ ユニークベニューの促進 □ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館 ■エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信 <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> □ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成 □イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発 □ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施 □エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業 <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> □ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動 □イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発

施後の
成果・効果等

「千葉の交通」という共通テーマによる県内博図公連携モデルの迫試行においては、博図公の連携システムを用いて巡回展を呼びかけた所、27か所での展示を開催することができた。消耗品による巡回キットの複製が必要となるほどであり、また、解説会の開催も好評であった。各地域の社会教育施設において、展示キットなどの情報発信事業の潜在的な需要があることがわかり、中核館としても、博図公連携システムを利用した情報発信力が確認できた。また、過去の展示キットについても展示を行うことができた。これらの展示では、博物館職員が社会教育施設において解説会や講演会を行うことで、館外で幅広く博物館の存在をアピールできた。課題としては、展示場所が多くなるとともに、展示するパネル数は少なかったこともあり、観覧者からは、より詳細な情報を求める声が多かった。これは多数の施設での展示方法が課題であるとともに、巡回展示が窓口となってより多くの情報を持つ博物館への誘導が可能なことも示している。

また、広域での情報発信の中で、船橋市では新たに図書館・公民館同士が連携して巡回展示を運営する事業に発展し、地域の博図公ネットワークが新たな地域ネットワークを誘発する可能性が示された。巡回展示の締めくくりとして中核館での展示を開催し、その中で、講演会の開催や図書資料を中心とした連携展示をも開催し、各施設の特徴を生かした情報発信ができた。

過去の展示キットを用いた連携展示はさわやかちば県民プラザで行うとともに、君津市内のフェスタに参加し、昨年制作した展示キットを活用することができた。

八千代市内では、公民館と市立博物館が連携し、地域の文化や自然に関する見学会やパンフレットの配布が行われた。地域の文化財に関する展示を博物館で行うとともに、公民館で「あの町・この町」展を行った。博物館と公民館の連携はよりスムーズになったが、地域協議会を考える上で、図書館との連携が課題として残った。

袖ヶ浦市では、袖ヶ浦市郷土博物館が中心となって、住民との連携に焦点を当てた連携展示とその関連行事を行って好評を得た。周辺のマップを作成することで、展示観覧者に周囲にある公民館・図書館への誘導が行えた。

今年度の研究会では、具体的な課題解決を目標に「図書資料の活用・保存」をテーマとして、博図公の各施設での図書の利用をお互いに研究し、最終的にはシンポジウムを開催し、報告書を作成した。これまで培ってきた博図公の「つながり」により、様々な視点での課題解決と事業発展が見込めることが分かった。

これらの事業を通し、社会教育施設が連携することにより、地域の情報発信を効果的に行えるだけでなく、新しい地域システムの誘発や様々な視点での事業展開など、社会教育施設の新しい可能性を示すことができた。

【事業実績】

1 共通テーマを「千葉の交通」に設定した県内連携モデルの追試行のための情報発信と関連行事

- (1) 展示キットによる巡回展示を県内 27 か所の社会教育施設で開催 来場者 42,488 人
- (2) 連携展示「千葉の鉄道物語」の開催(平成 31 年 2 月 23 日～ 3 月 24 日 来場者 6,384 人)
- (3) 巡回展に合わせた解説会・講演会 18 回 の開催 参加者 364 人
- (4) 情報発信のための刊行物の作成
(図書館、博物館、公民館に配布するとともに、展示や講演会で活用)
 - ① 小冊子「写真でつづる千葉県と鉄道」
 - ② 小冊子「千葉のおばちゃんたちの野菜行商－カゴを背負って東京へー」
 - ③ 小冊子「千葉の鉄道物語」
- (5) 図書を中心とした「のりもの絵本巡回キット」
 - ① 展示「絵本でのりもの博物館」(県立中央図書館平成 31 年 1 月 19 日～ 3 月 31 日)
 - ② のりもののおはなし会の開催(県立中央図書館平成 31 年 2 月 24 日 参加者 6 人)
 - ③ 中央博物館「千葉の鉄道物語」展における図書資料展示
(県立中央博物館平成 31 年 2 月 23 日～ 3 月 24 日 6,324 人)
- (6) 過去の展示キットを用いた連携展示
 - ① ちばのおたから再発見
(さわやかちば県民プラザ 平成 31 年 2 月 2 日～ 2 月 13 日 来場者 1,620 人)
 - ② 森の童話館(君津亀山少年の家 平成 31 年 2 月 17 日 236 人)
- (7) 講演会による情報発信
 - ① 「千葉の伝承と鉄道」(県立中央博物館 平成 31 年 3 月 10 日 来場者 110 人)
 - ② 「鉄道と行商－消えゆく「カンカン部隊」を追って－」
(県立中央博物館 平成 31 年 3 月 17 日 来場者 110 人)

2 同一市内での博図公連携モデルの構築事業

- (1) 八千代市で連携モデル構築のための行事の開催
 - ① 公民館と博物館が連携した文化財散歩(10月24日、11月7日参加者31人)
 - ② 自然観察会(11月28日、平成31年1月22日参加者40人)
 - ③ 地域の情報を発信するための展示
 - ・ 八千代の自然・文化財 11 選(八千代市立郷土博物館)
(9月14日～10月4日、12月20日～平成31年1月31日入場者4,282人)
 - ・ あの町この町展示(八千代市立郷土博物館9回、8公民館)
(来場者延べ158,220人)
 - ・ 写真でつづる千葉県と鉄道 in 八千代
(八千代市立郷土博物館平成31年2月9日～24日来場者1,724人)
 - ④ 地域の情報を発信するためのパンフレットの作成
 - ・ お散歩マップ(2地域)
 - ・ 八千代市あの町この町
 - ・ 八千代の自然・文化財 11 選
- (2) 袖ヶ浦市における市民と連携した展示の開催
 - ① 連携展示「地図を持って出かけよう！－石井更幸コレクションに見る内房の交通と観光－」の開催(袖ヶ浦市郷土博物館8月4日～10月14日入場者6,265人)
 - ② パンフレット「行ってみようマップ」の作成
 - ③ 関連行事「石井更幸さんと HO ゲージを走らせよう！」の開催
(8月19日、9月16日、10月7日参加者272人)

④講演会袖ヶ浦学「地図製作へのこだわりー峰庫治の世界ー」の開催

(11月23日参加者25人)

3 博図公職員の情報共有の場をつくるための研究会の開催

『「本」をめぐる博図公連携』をテーマとした研究会

(12月21日、12月14日、1月11日参加者：延べ58名)

シンポジウム『「本」をめぐる博図公連携』(2月1日参加者：117名)

③ シンポジウム報告書の作成

4 検討会の開催

実行委員会(7月20日、3月15日)

担当者会議(7月20日、9月14日、11月2日、1月11日、3月15日)

5 実績

(1)マスコミでの報道結果

朝日新聞11月15日朝刊

ちいき新聞(若葉版・稲毛版(2月15日)市原北版、千葉NT版(3月1日))

読売新聞平成31年2月24日朝刊

(2)成果物

【千葉県立中央博物館】

①「写真でつづる千葉県と鉄道」展示キット1セット(52パネル)

②ちらし「写真でつづる千葉県と鉄道」A4版20,000部

③ちらし「春は鉄道」A4版1,400部

④シンポジウムちらしA4版6,000部B5版50P1,600部

⑤小冊子「写真でつづる千葉県と鉄道」A4版36P3,000部

⑥小冊子「千葉のおばちゃんたちの野菜行商ーカゴを背負って東京へー」B5版50P1,600部

⑦行商にかかるイラスト11点(小冊子に使用)

⑧小冊子「千葉の鉄道物語」B5変形26P10,000部

⑨シンポジウム報告書A4版26P1,000部

【八千代市立郷土博物館】

⑩パンフレット「お散歩マップ」(2種類)B4版三つ折5,000部×2種

⑪小冊子「八千代市あの町この町」A4版12P5,000部

⑫小冊子「八千代の自然・文化財11選」A5版16P5,000部

【袖ヶ浦市郷土博物館】

⑬ちらしA4版4,000部

⑭パンフレット「行ってみようマップ」A3版二つ折2,500部

⑮タイトルシート1枚(1067mm×1600mm)

【千葉県立中央図書館】

⑯図書資料ブックリストA4版4P1,500部

⑰展示パネルA3版・2枚



(1) ①展示キットによる巡回展示白井市文化センター11月16日～21日
展示会場内の白井市PRコーナー（図書館では鉄道本紹介）



1 (1) ②巡回展示に伴う講座・解説会の開催長南町郷土資料館における説明会（平成31年1月27日）



1 (1) ①展示キットによる巡回展示「のりもの絵本巡回キット」を用いた「絵本でのりもの博物館」
 (千葉県立中央図書館平成31年1月19日～3月31日)



1 (1) ①中核館での展示 (県立中央博物館 平成31年2月23日～)

右上：布製のシートに印刷した列車写真

右中：中央図書館による図書資料展示・閲覧コーナー

右下：閲覧図書盗難防止のための装置





1 (1) ④講演会「千葉の伝承と鉄道」(県立中央博物館平成31年3月10日)



1 (1) ④講演会「鉄道と行商—消えゆく「カンカン部隊」を追って—」(県立中央博物館平成31年3月17日)



1 (1) ③これまでの展示キットによる展示森の童話館での「物語のなかのきのこ」展示とイベント風景
(君津亀山青少年自然の家 平成31年2月17日)



1 (1) ③これまでの展示キットによる展示 (さわやかちば県民プラザ平成31年2月2日～2月13日)



2 (2) ②見学会の開催文化財さんぽ～八千代台地区～ (10月24日)



2 (2) ②見学会の開催自然観察会～保品地区 (11月28日)



2 (2) ③地域をテーマにした展示あの町この町展示 (八千代台公民館)



2 (2) ②見学会の開催あの町この町展示 (八千代市立郷土博物館)



2 (2) ①連携を基礎に置いた「千葉の交通」についての展示「地図を持って出かけよう！石井更幸コレクション」に見る内房の交通と観光（袖ヶ浦市郷土博物館平成30年8月4日～10月14日）



2 (2) ②展示に関連した講演会地図製作へのこだわりー峰庫治の世界ー（袖ヶ浦市郷土博物館11月23日）



3 (1) ①連事業研究会『「本」をめぐる博図公連携』をテーマとした研究会「本からとび出したおいしい給食」
(千葉市生涯学習センター12月14日)



3 (1) ②シンポジウム『「本」をめぐる博図公連携』(千葉市生涯学習センター平成31年2月1日)